

**具体的な施策・重要業績評価
指標（KPI）進捗状況評価票
【対象：平成29年度】
（確認用）**

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策		市内企業の経営支援
主担当課	経済観光課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・むさし府中商工会議所と連携し、経営指導や金融支援などといった経営支援を行い、雇用の確保と地域経済の活性化を目指します。 ・商店街のより一層の活性化に向けた取組を支援します。 ・産・学・金・官の連携等を図り、新たな商品開発や人材交流につなげ、市内産業の振興を支援します。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
融資実行件数	件	300					
		292	283	252	243		
		/	B	C	C		
商店街イベント事業補助金交付商店会数	件	32					
		28	30	30	29		
		/	A	A	A		
技術相談を行った件数	件	470					
		463	456	407	462		
		/	B	C	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>事業資金融資利子補助の制度を見直し（限度額や返済期間の拡大等）市内中小企業における金融の円滑化を図った。過去3年間の申込件数は、平成27年度が340件、平成28年度が304件、平成29年度が285件と減少しており、低金利政策や実行されるまで時間がかかることなどが要因として考えられる。しかし、同時に、金融機関の直接融資を利用する企業が増え、徐々にではあるが、経済が円滑に回り始めていると聞いている。</p> <p>イベント事業に対する補助を継続して行うことで、29商店会、延べ47事業分の商店街の活性化等に寄与する事業への支援を継続することができた。</p>
B	<p>府中市工業技術情報センターへ相談した会社1社当たりの相談件数は平均4件、また、技術相談の結果として製品開発につながった、あるいは開発途中の件数は6件ある。都の施設の充実等により、専門的な技術相談対応から、補助金等申請支援相談や技術情報提供等へ重点を移し支援することができた。また、人材交流としては、産学官連携として6社の交流あつ旋を行い、市内産業の振興を図った。</p>
【平成30年度における取組など】	
<p>事業資金融資利子補助や中小企業退職金共済掛金の補助を継続するとともに、景況や市内中小企業者のニーズを把握し、円滑な経済活動が行われるよう支援していく。</p> <p>イベント事業に対する補助を継続して行うことで、商店街の活性化等に寄与する事業を行う商店会への支援を継続していく。</p> <p>補助金等申請支援相談や技術情報提供に重点を置き、支援を継続していく。また、平成30年度よりむさし府中商工会議所内へ移転し、市内商工業者の相談拠点の一元化により、新たな支援を開拓していく。</p>	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>実行件数が厳しい数値であり、目標に対して 57 件、前年比 9 件と減少が続いている。担当課コメントによると申込数も同様に減少が続いているが、毎年 40～50 件近く融資実行に至っていないケースがある。書式の不備等による単純ミスといったものか、申込者と制度のミスマッチがあるのかを検証があると良いのではないか。一因として実行までの時間がかかる面が挙げられているが、実態に応じた制度設計の見直しや制度自体の周知についての状況を整理することも検討してほしい。</p>
B	<p>毎年目標数 32 件には達しておらず、平成 29 年度は前年比 1 件となっているものの目標件数、実行件数共に誤差の範囲内であり着実に進んでいると評価できる。</p> <p>平成 29 年度は前年比 55 件の急激な増加であり、以前の水準に戻した状況が見て取れる。担当課コメントによると相談が成果に結び付いており、相談拠点の一元化と併せて目標達成に向け順調に推移していると考えられる。</p>

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策		多様な人材の就労支援
主担当課	住宅勤労課、地域コミュニティ課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、働く意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。 ・ 講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めます。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
いきいきワーク府中の就職率	%	36.8					
		32.1	27.2	26.4	24.8		
			C	C	C		
女性向け再就職支援の講座数	講座	現状値以上					
		5	5	5	4		
			A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>高齢者の職業紹介事業は自所求人開拓を積極的に取り組み、親切丁寧な対応を行うことで、就職者数215人、来所者数1,787人、自所開拓求人数2,035人となり、再就職につなげている。KPIについては就職者数とともに、都内でもトップレベルの実績をあげているが、定年の引上げ等により高齢者の就労機会がさらに厳しさを増すなかで、新規求職者が増え続けているため、KPIの低下が生じた。</p> <p>新たな取組として市とセブン・イレブンの地域活性化包括協定に基づき「シニア向けお仕事説明会」を開催し、13人が就職する成果を得た。</p>
B	<p>また、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターと共催等で、就職支援セミナー、合同就職面接会を行った。</p> <p>再就職支援講座を4講座（延20回）実施し、出産や介護等の理由により離職した女性の再就職を支援した。受講者113人のうち、就職につながった人数は24人。</p>
【平成30年度における取組など】	
<p>ハローワークの求人情報に加えて、勤労者福祉振興公社が独自に集めた求人情報を提供して実施する概ね55歳からの無料職業紹介事業「いきいきワーク府中」に対して引き続き支援していく。求人数及び就職者のニーズに対応するため、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センター等と連携を図り、再就職支援講座や就職面接会を行い、高齢者の再就職を支援していく。</p> <p>引き続き、講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援していく。</p>	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>実績については、目標達成率 12ポイント 前年比 1.6ポイントという結果で目標に対する評価としては厳しいが就職件数は横ばいで推移しており、現状の雇用情勢から見ると概ね評価できる数値と思料する。取組自体は積極的に行っていると思われるので今後、ハローワーク等関係機関と連携を強化し、就職数向上により目標就職率の向上を図ってほしい。</p>
B	<p>女性向け再就職支援講座は目標現状値で28年度18回のところ20回実施と良好に推移している。講座数が5から4となっているが必要度により回数を重視したものと思料する。今後も求職者ニーズに合わせた効果的な運営を継続してほしい。</p>

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	2	起業・創業の推進による産業構造の多様化
具体的な施策		起業・創業の支援
主担当課	経済観光課、協働推進課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業・創業に関する基礎知識や事例、各種補助 制度の情報などについて、相談体制を確保するとともに、セミナーなどにより、起業・創業希望者を支援します。 ・ 東京農工大学をはじめとする教育機関や市内団体等と連携し、コミュニティビジネスの立ち上げや、インキュベーションオフィスの活用も含め、商・工・農における起業や創業に関する多様な支援を行います。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
起業・創業に関するセミナー参加人数	人	90					
		44	115	80	62		
		/	A	B	B		
コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談の参加人数	人	24					
		6	24	10	28		
		/	A	B	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>創業に関する基礎知識や事例、各種補助金制度の情報などについて、創業支援事業計画に基づく創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保することができた。また、創業に関するセミナー及び実践創業塾・体験型創業塾については6回、延べ62人の参加があり、創業希望者の継続的な支援を行うことができた。</p> <p>また、平成29年度から創業支援プロジェクト機関を拡大し、日本政策金融公庫を新たに迎え、幅広い支援ができるよう連携して事業を行った。</p>
A	<p>平成29年度は、前年度に引き続きガイダンス及び個別相談を実施し、13回延べ28人の参加があった。また、市民活動センターを開館し指定管理者業務とし、普段の窓口業務でも軽微な相談を受ける体制をとり、ガイダンスまたは個別相談の参加促進を図った。</p>
【平成30年度における取組など】	
<p>創業に関する基礎知識や事例、各種補助・制度の情報などについて、創業支援プロジェクト機関を中心とした相談体制を確保していく。また、創業支援プロジェクト機関における創業に関するセミナー及び創業塾の開催を継続し、創業希望者の支援や創業希望者どうしの交流の場をつくっていく。</p> <p>平成30年度より、ガイダンス（入門講座）については市民活動センターの指定管理者等が行うことで、普段の窓口業務で軽微な相談をした方にガイダンスへの参加を案内するなど、ガイダンス（入門講座）または個別相談の更なる参加促進を図る。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>実績値が2年連続で減少しているため、担当課で実績値が減少している要因をしっかりと分析してほしい。さらに、セミナー参加者のうち、何人が起業・創業につながっているのか、後追いもしてほしい。</p>
B	<p>また、平成29年度の取組内容と評価で、相談体制を確保するとともに、創業支援プロジェクト機関を拡大しており、その効果が平成30年度の実績につながることを期待したい。</p> <p>目標値を上回る実績になっているため、その取組の成果が出ていることは評価できる。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		市の魅力を高め、知名度を向上させる活動の推進
主担当課	経済観光課、広報課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や市内の事業者、企業、学校等と連携を図り、市の魅力を発信して、来訪者の増加を図ります。また、市民に対しては、市の魅力を再認識してもらい、住み続けたいと思う市民を増やします。 ・府中市の魅力を再発見を行政だけでなく、市民、各種団体等と協働で取り組み、「武蔵国 府中大使」や様々な機会・媒体を通じて発信し、にぎわいの増進を図ります。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
京王線府中駅における 1 日の乗降人員	人	現状値以上					
		85,279	86,949	88,100	90,224		
		/	A	A	A		
市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合	%	15.0 以下					
		17.7	17.3	17.4	17.0		
		/	B	B	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>漫画「ちはやふる」タイアップスマートフォンアプリを開発、デジタルスタンプラリーを実施してファンの誘客を図った。観光情報センター周辺の案内表示を多言語化したほか、英語版観光マップを元に中国語（繁体字・簡体字）と韓国語版を制作し、東京都観光情報センター等の観光拠点やホテル等に配布し、外国人観光客への対応を強化した。</p> <p>広報紙を行政情報アプリ「マチイロ」で掲載開始したほか、拠点配布として、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルK・サンクス、東京外国語大学、東京農工大学等で配布した。ふちゅこまツイッターを開始した。市勢要覧を刊行した。駅前案内板では、府中競馬正門前・是政・競艇場前・北府中駅（各1基）、西府駅（2基）の多言語化を実施した。</p>
B	
【平成30年度における取組など】	
<p>「ちはやふる」を活用した市内回遊促進事業を実施する。京王電鉄実施の「ちはやふる」事業と同時開催し、相互に告知等で協力、市外からの誘客強化を狙う。成田空港に動画を掲出し、来日観光客に府中をPRするとともに、SNSで情報発信を行い、外国人観光客が府中を知り、興味を持つきっかけを作る。京王線沿線市とは、連携して魅力発掘のためのワークショップやフィールドワークを開催、南武線沿線市とは、SNSを活用したフォトコンテストを実施し、効果的な情報発信を行う。</p> <p>広報紙・テープ広報の年36回発行、ホームページの適正な管理・運用、メール配信サービス及びツイッターの管理・運用、テレビ広報を年36本製作・放映、市マスコットキャラクターの管理・運用を行う。より多くの市民に広報紙を読んでもらうため、特集ページの作成を検討する。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>実績は増加しているともいえるが、自然増の範囲とも考えられる。できるだけ自然増の影響を避け、来訪者の増減の評価により近づけるため、曜日別・時間帯別などの分析を試み、今後の取り組みに活用してほしい。</p> <p>また、近傍他市の駅、例えば調布駅などとの乗降客数増減との比較も施策の評価に有効と考える。</p>
B	<p>「市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合」は27年度、28年度に続き、29年度も停滞傾向が続いている。目標には未達であるが、市の施策が効果をあげつつあり、目標達成に向け概ね順調に進んでいると考える。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	経済観光課、政策課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。 ・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
休日のけやき並木通りの歩行者交通量	人	現状値以上					
		19,378	19,378	15,586	25,500		
		平成 27 年度の実績	-	C	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>・平成29年7月には、府中駅南口市街地再開発事業の最終地区となる「ル・シーニュ」が開業を迎えた。これに際し、平成28年12月に設立したエリアマネジメント組織「一般社団法人まちづくり府中」が中心となり、府中駅南口に立地する大規模商業施設が連携した合同セール「キテキテ府中」及び市内大学と連携した「FUCHU WORLD FESTIVAL」が開催され、にぎわいが創出された。</p>
A	<p>・市から同法人への委託事業として、けやき並木通り南西部にある未利用市有地の活用に向けた実証実験として、チャレンジショップの運営を行ったほか、東京競馬場来場者を中心市街地に呼び込むためのタイアップ事業として、スマートフォンを活用したスタンプラリーを実施した。加えて、年末年始には、中心市街地への来訪者をもてなすための竹あかりライトアップ事業を実施し、にぎわいの創出に寄与した。</p> <p>< K P I の調査条件について ></p> <p>測定日時：平成29年9月24日（日）7時から19時（合計12時間）</p> <p>場 所：けやき並木通り（ル・シーニュ前）</p> <p>天 候：晴れ</p>
【平成30年度における取組など】	
	<p>・お店の人が講師となって、専門知識やプロのコツを無料で教えるコミュニケーション事業「むさし府中まちゼミ」を一般社団法人まちづくり府中の主催で実施し、各店舗や店主の魅力を発信することで、にぎわいの創出につなげる。</p> <p>・東京競馬場タイアップ事業は、平成29年度に実施したデジタルのスタンプラリーの手法を基本としつつ、アナログ的手法の活用や協力店舗の業種を拡大することで、参加者のさらなる増加を目指し、にぎわいの創出につなげる。</p> <p>・平成29年度までむさし府中商工会議所が主催していた「府中マルシェ」を発展させた新たなにぎわい創出事業を検討し、年2回程度実施する。</p> <p>・竹あかりライトアップ事業は、今後のラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックで、さらに多くの方が府中を訪れることを見据え、実施時期や見せ方を工夫し、より印象的なライトアップを行う。</p>

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>府中駅南口で最後に残っていた府中駅南口市街地再開発事業の地区に「ル・シーニュ」が開業し、「ル・シーニュ」を含む府中駅周辺の大規模商業施設が連携した「キテキテ府中」等のイベントや未利用地活用によるチャレンジショップの運営、スマートフォン活用のスタンプラリー、「竹あかりライトアップ」などの各種事業がなされたことは、評価できる。中心市街地の更なる賑わいの創出に向けて、各種事業の認知度を高める取組に努めてほしい。</p>
A	<p>けやき並木の通行量調査日はイベントのない日に実施したものであり、K P I 数値は大幅にアップしていることは評価できる。しかし、K P I の測定は年 1 回のみで、状況によっては数値が大きく変動してしまう可能性があるため、計測を毎年度同時期に実施するとともに、他の施策の K P I である「府中駅の乗降客数」との関連性を分析してほしい。</p> <p>今後ともまちの賑わいにつながる事業の推進とともに、官民協働による取組みを継続的に実施してほしい。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2	郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策		歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課	文化生涯学習課、スポーツ振興課	関連課	ふるさと文化財課、美術館	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。 ・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。 			

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
郷土の森博物館 及び美術館の 入場者数	人	533,000					
		489,602	498,579	569,685	530,738		
			A	A	A		
大学やトップチーム と連携する事業数	事業	3					
		2	2	3	4		
			A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	郷土の森博物館では、プラネタリウムのリニューアル工事（10月～翌年4月末）に伴い、投映を一時休止及び休館したことにより、入場者数の目標値には達しなかったが、計画的な植栽管理による梅まつりの実施や魅力ある特別展を開催し、一定の成果（H29年度入館者数283,766人）を得たため、評価Aとした。美術館では、企画展・公開制作・鑑賞教室等を実施するとともに、市内で活動する個人・団体の展示による市民ギャラリーの利用（H29年度の総入場者数246,972人）など一定の成果を得た。
A	総合体育館では、市特有の事業として、トップチームによるフットサル教室及びチアダンス教室等を実施した。参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声が集まり好評を得た。 市指定の無形民俗文化財である府中囃子は、年間を通じ、演奏技術の伝承を継続して支援するとともに、演奏を収録したCDを作成し、市内外に広く周知を行った。武蔵国府太鼓は市民を対象とした講習会を継続して実施した。市史編さん事業では、東京外国語大学と連携し、近世古文書の調査並びに近代行政文書の件名目録作成による整理を実施した。また、東京農工大学と連携し、自然調査（植生、土壌、大気等）の実施により、大きな成果を得た。
【平成30年度における取組など】	
郷土の森博物館では、特別展・企画展の実施や、常設展、梅まつり等を継続して実施することで、郷土愛の醸成につながる取組とするほか、リニューアルしたプラネタリウムを活かした事業を実施し、来場者数の増加を図る。美術館では、企画展、常設展・所蔵品展を開催し、市民の美術文化に対する意識を高めるとともに、天井等を改修し、安全性を向上させる。 平成29年度においても目標事業数の「3」を達成できた。今後は事業を継続するとともに、参加者満足度の向上のため教室内容を工夫することにより、更なる充実を目指していく。 府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成を継続して取り組む。武蔵国府太鼓の演奏を収録したDVDを作成し、市内外へ広く周知を図る。市史編さん事業の中で、引き続き市内の大学（東京外国語大学・東京農工大学）と連携して調査を進める。	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	昨年度よりも減少し、目標値に達しなかったものの、郷土の森博物館がリニューアル工事の中、様々な展示や行事を行ったことで一定の成果が見られたことは評価できる。また、ほかに減少した要因がないか解明に努めてほしい。今後は、リニューアルしたプラネタリウムをアピールしていくことや、展示や行事の継続を行うことで、入場者の増加を図ってほしい。
A	目標値を達成し、昨年度と比較しても事業が増加している点で評価できる。今後も、府中市ならではの歴史や文化の継承や、市民がスポーツに親しむことができるような取組の継続を行い、新たな取組にも期待したい。そして、継続していく上での課題がないか検討してほしい。また、参加者満足度向上のため教室内容を工夫するとあるが、その際には、参加者のニーズの把握に努めてほしい。

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	3	若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策		安心して妊娠・出産できるサポート体制の充実
主担当課	子育て支援課、健康推進課	
施策概要	・妊娠期からの子育て不安の解消に向けて、適切な情報提供を行うとともに、各種健診や教室などを実施します。また、出産前後の家庭の育児や家事を支援し、出産に係る母親の負担感の軽減を図ります。	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
Fu-CHU こそだて サイト「ふわっと」 アクセス数	人	現状値以上					
		24,807	26,924	23,887	50,146		
			A	B	A		
産前産後家庭 サポート事業の 新規登録世帯	世帯	現状値以上					
		213	224	220	213		
			A	A	A		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>子育てサイトをリニューアルするとともに、アプリを配信開始し、幅広く出産や子育ての支援に関する情報提供を行い、育児に係る不安解消等を図った。</p> <p>産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児に係る不安解消等を図った。</p> <p>妊娠届出を行った全妊婦を対象として妊婦健康診査、超音波検査、HIV抗体検査、子宮頸がん健診の費用助成（対象者2,096人、延べ25,874件）をした。また、母親学級を年10回、両親学級を年10回実施し、延べ662人の参加があった。離乳食教室、年59回（参加者延べ1,415人）親と子の歯みがき教室年11回（参加者延べ244人）を実施した。必要時、健診・教室から助産師及び保健師の相談や訪問につなげ、妊娠期から出産や育児についての不安の解消や子育て支援を行った。母子の保持増進及び安心して子供を産み育てるための環境づくりに役割を果たした。</p>
A	
【平成30年度における取組など】	
<p>市民がより情報を得やすくなるよう、子育てサイト及びアプリの適切な運用を行うとともに、情報の得にくい外国人向けに子育てサイトに多言語翻訳機能を搭載する。また、リーフレットの改訂・配布を行うほか、メール配信サービス等によりさらなる周知を図る。</p> <p>引き続き、産前産後家庭サポート事業の実施により、育児不安を抱える保護者にきめ細やかな支援を提供し、育児不安の解消を図る。また、より多くの市民に利用してもらえよう、リーフレットを改訂し、母子健康手帳交付時に配布するほか、子育てサイトやメール配信サービス等により周知を図る。</p> <p>平成30年4月から子ども家庭支援センター「たっち」と連携型で子育て世代包括支援センターを立上げ、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実させていく。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>子育てサイトをリニューアルし、アクセス数が倍増したことは評価できる。今後は、外国人向けに情報を発信したり、市民団体のサイトへリンクするなど、更なる充実に努めてほしい。また、サイトの利用者が育児に係る不安などを気軽に相談できるよう、機能の充実に努めてほしい。</p>
A	<p>きめ細やかな支援が提供されていると思うが、KPIが減っている。KPIを増やすには、近年、貧困家庭も増えているため、孤立した家庭まで行き届き、地域や市民と連携し、さらには見守りとしての事業として増えていく事も必要と思う。市民や子育て世代包括支援センターなどと連携し、さらなる充実に期待したい。</p> <p>また、KPIが2年連続で減少しているため、減少した原因を分析し、これ以上減少しないよう対策を講じてほしい。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (KPI) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	3	若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策		安心して子育てができる環境の整備
主担当課	子育て支援課、保育支援課、健康推進課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期発見に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。また、各種予防接種を実施し、子どもの健康を守ります。 ・待機児童の解消に向け、既存施設の有効活用などのソフト面の手法と施設の整備などによるハード面の手法を併用することにより、保育サービス量の拡充に取り組むとともに、保育の質の向上を目指します。また、地域の様々な人材や団体、施設などの社会資源との連携や協働を図り、地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりを進めます。 ・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。 	

1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
新生児訪問実施率	%	97.0					
		86.9	86.1	80.7	88.8		
		/	B	C	B		
特定教育・保育施設の数	箇所	54					
		47	50	52	54		
		/	A	A	A		
安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	%	50					
		48.5	50.3	49.6	49.7		
		/	A	B	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>新生児訪問では発育状況の確認や子育て相談や情報提供を行い、母子の健康増進と子育て不安の解消に寄与した。里帰り先で訪問を希望する家庭には里帰り先の自治体に訪問依頼をし、対応した（都外医療機関（助産院含む）妊婦健診者数平成28年449件、平成29年357件）。新生児訪問を未利用の家庭には、3～4か月児健診等で状況確認を行った。3～4か月児健診98.1%、1歳6か月児健診95.6%、3歳児健診94.8%。平成29年4月から9月の間、B型肝炎ワクチン特例接種を実施し接種の機会を確保した。予防接種ナビちっくんの登録者数は平成29年度末8,056人と増加し平均予防接種率は92.9%で健診とともに高水準を維持し子供の健康維持の役割を果たした。</p> <p>認可保育所（私立保育園）の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備支援を実施し、平成30年4月1日付けで認可保育所を4施設（本園3、分園1）開設したほか、私立幼稚園4園において幼稚園型一時預かり事業を開始するなど、多様な保育サービスの充実を図った。</p> <p>また、市内保育施設に対して、市職員による巡回支援や保育従事者を対象とした研修などを実施し、保育の質の向上を図った。</p> <p>子育て中の親の孤立化の防止や子育て不安の解消を図るため、市内11か所で子育てひろば事業を実施したほか、市保育士やボランティアによる子育てひろばや市民団体の子育てひろば活動への補助を行った。義務教育終了前までの児童を対象に医療費の助成や児童手当の支給を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。</p>
B	
【平成30年度における取組など】	
	<p>平成30年4月から子育て世代包括支援センターに伴い、妊娠届出時に看護職による全件面接を実施する。新生児訪問等サービスの案内を行い各種サービスの実施率の向上に努める。また、必要に応じて保健師の継続相談等につなぎ早期から支援できる体制を継続する。健康診査では子どもの健康増進と共に子育て支援の機会になるよう実施する。予防接種は安全に実施されるよう予防接種ナビは継続実施し、市民及び協力医療機関への情報提供等に努めていく。</p> <p>引き続き、認可保育所等の保育施設の整備を行うほか、私立幼稚園などの協力を得ながら一時保育・定期利用保育などの保育サービスの充実を図るとともに、保育コンシェルジュによる相談窓口業務を通じて、各子育て世帯に応じた保育サービスの提案を行う。</p> <p>地域で子育てひろばを展開するとともに、市立保育所の地域子育て支援拠点の整備を進める。また、手当・医療費助成とともに継続して法令等に基づき実施をすることにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p>

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>新生児訪問実施率は88.8%と目標値を下回ってはいるが、里帰り先の自治体に訪問依頼を実施したり、未利用の家庭はその後の検診で状況確認を行っているなど、適切なフォローがなされており実質的には目標値に近い水準の保健指導が行われていると判断できる。また、予防接種の接種率の向上につとめていることも高く評価できる。</p>
B	<p>認可保育所等の新たな開設など、待機児童の解消に向けた取組みが着実に実施されている。ただし、府中市は待機児童数が全国的にも依然高水準にあり、継続した取組みが必要であるため、今後も多様な保育サービスの提供に努めてほしい。</p> <p>子育て家庭への相談事業のほか、経済的支援など多角的な支援も行われており、安心して子育てができると感じる市民の割合は目標値にかなり近い水準にある。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策		防災・防犯体制の強化
主担当課	防災危機管理課、地域安全対策課	
施策概要	・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	%	80.0					
		62.2	57.4	62	55.8		
			B	B	C		
地域安全リーダー講習会受講者数	人	450					
		311	332	354	374		
			A	A	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>防災の基本である自助について、広報番組「まるごと府中」や職員の出前講座等を通じて、家庭でできる取組（家具の転倒防止、災害用持ち出し袋の備蓄等）の必要性を説明してきた。また、市内の文化センター圏域ごとに自主防災連絡会において、昨年度、明らかにした防災上の課題から「安否確認活動」を取組のテーマに設定し、自治会等ごとに防災対策を検討し、行動計画の作成に取り組んだ。また、新たに水害ハザードマップを作成し、全戸配付を行い、水害のリスクと対応などについて周知した。</p> <p>様々な機会を利用し、市民自らが参加する自主防犯活動の大切さについて啓発活動を行った結果、地域安全リーダー講習会への女性参加者増加につながったが、若年層の参加には至らなかった。（全体20名、女性6名、40歳代以下の若年層0名）</p> <p>また、プロ劇団員による寸劇防犯講話を開催し特殊詐欺被害防止に努めた。（年1回、市民センタープラッツ「バルトホール」で実施）</p>
B	
【平成30年度における取組など】	
	<p>引き続き、上記の取組を推進するほか、自主防災連絡会の活動内容について、参加者だけではなく広く市民に周知するため、防災情報紙を新たに作成し、全戸配付を行い、意識啓発を図る。</p> <p>ながら見守り連携協定を東京ヤクルト販売(株)と締結し、これまでに締結した東京都信用金庫協会、宅建取引業協会、不動産協会、府中新聞販売同業組合と合わせ、より多くの目で見守りを行う体制づくりができたことから、今後は府中警察署と連携し、子どもに対する犯罪や特殊詐欺の発生状況などの情報を見守り個所として発信することで、安全で快適に暮らせる持続可能なまちづくりに努めていく。</p>

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>自助については地域ごとの取組みや、情報提供を行っているなど評価できる。現状、市民の備えに対する意識が55.8%と年々低下している。このままでは80%達成が厳しいと考える。次期に防災情報紙を全戸配付による意識啓発に期待すると同時に更なる周知を期待したい。</p>
B	<p>講習会参加者に女性が増えた事は評価できる。いざという時の力になる女性、若年層の参加を促すことに更に邁進してほしい。</p> <p>目標に対し参加者も微増しているが、講習会の回数を増やす、会場を増やす等、更なる受講者数を増やす工夫をしてほしい。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化
具体的な施策		地域交流・活動の促進
主担当課	地域コミュニティ課、協働推進課、指導室	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。 ・相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び、東京農工大学及び明治大学をはじめ、市内の企業や市民活動団体等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。 	

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数	人	231,000					
		222,427	228,575	238,754	236,873		
		/	A	A	A		
市と大学や企業等が協働実施している事業数	事業	現状値以上					
		59	56	41	43		
		/	B	C	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>各文化センター圏域でのコミュニティ事業については、地域まつりやレクリエーション大会（運動会）などを全文化センター圏域で実施したほか、片町文化センターの競技かるた初心者大会や紅葉丘文化センターのバードウォッチングなど、地域の特色を活かした各種行事を地域の人々が参加しやすい工夫を凝らしながら市民との協働で提供し実施することができた。</p>
B	<p>大学との協働事業については、市内の大学である東京農工大学や東京外国語大学と協定に基づき、青少年体験事業や市史編さん事業などを実施するとともに、連携体制を構築している明治大学と生涯学習ファシリテーター・サポーター養成講座を実施し、良き協働のパートナーとして定着している。</p> <p>また、企業との連携については、主な事業として、府中新聞販売同業組合や府中プロパンガス商工組合と連携した「高齢者見守りネットワーク事業」や、市内スポーツ団体と連携した「ボールふれあいフェスタ」などの事業を実施した。</p> <p>コミュニティ・スクール事業では、学校と地域とが連携して、各校で地域防災の推進や学習支援の実施、ゲストティーチャーの紹介、サマースクールの開催などの活動が主体的に実施されている。</p>
【平成30年度における取組など】	
	<p>地域の特色を活かした事業を展開し、圏域住民のニーズを勘案した事業の実施に取り組んでいく。</p> <p>圏域ごとの課題への対応については、他センターの成功事例を参考にし、改善を試みる。</p> <p>大学との連携については、引き続き、東京外国語大学、東京農工大学、明治大学と連携した事業を実施する。企業との連携については、株式会社セブン イレブン・ジャパンとの地域活性化包括連携協定や府中新聞販売同業組合等との「ながら見守り連携協定」に基づいた取組など、引き続き企業と連携した事業を実施するとともに、事業内容の更なる充実のため、新規開拓を含めて、引き続き事業を実施していく。</p> <p>コミュニティ・スクール事業については、引き続き、地域の教育力を生かして推進していきたい。また、各校の取組の情報共有を図っていく。</p>

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>事業参加者数が経年的推移でみて安定している点、地域の特色を活かした各種行事を開催した点は高く評価できる。しかし、事業参加者数が前年比において若干の減少（1881人）となっていることから、事業参加者数の減少要因についての解明に努めてほしい。また、前回の協議会評価で要望した、文化センター圏域ごとの課題抽出とその対応策の実行については、本年度において迅速な対応を期待したい。</p>
B	<p>現状値から逡減していた協働事業数が増加に転じた点は評価できる。連携先をみると、「大学」は実績数及び連携内容の多様性からみて高く評価できる。一方、企業との連携は相対的に少ない傾向にあり、新規事業の積極的な創出による連携増加に努めてほしい。</p> <p>また、多様な主体（企業、各種団体、大学）との横断的連携を積極的に図り、各主体の強みを活かすことで、新規性・独自性のある事業創出を期待したい。</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (K P I) 進捗状況評価票
(対象:平成 29 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保		
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化		
具体的な施策		空き家などの活用		
主担当課	環境政策課	関連課	住宅勤労課、地域コミュニティ課	
施策概要	・空き家や空き店舗などは、地域活動に活用できる重要なストックであることから、これらを有効活用し、地域コミュニティ拠点の整備などを目指します。			

1 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
空き家等を活用した コミュニティ活動 事例	人	実施					
		未実施	未実施	未実施	未実施		
			C	C	B		

- 進捗 A : 目標達成に向け、順調に進捗している。
 B : やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C : 遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度に設置した附属機関（府中市空家等対策協議会：会長・市長）において審議され、平成29年度に策定された空家等対策計画の中で、空き家利活用の方向性を定めた。（利用可能な空き家について、所有者等に専門相談窓口を案内するなど、市場流通の促進を図る。住宅や福祉、子育て等各部門における施策を進める手段としての利活用について情報の蓄積を進め、必要な場合は各部門で検討していく。）
B	<ul style="list-style-type: none"> 東京都及び調布市と共催で、空き家対策等の推進及び啓発を目的に、懸念される居住環境の悪化、防災面で課題となる空き家問題、利活用の推進など、空き家にまつわる基本的な問題・課題をテーマにしたセミナーを開催した。
【平成30年度における取組など】	
<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策の推進に関する特別措置法第3条に定めるとおり、空き家対策の原則は所有者等による自己管理にあるため、空き家利活用についても、府中市空家等対策計画に則り、その原則との整合を図りながら進めていく。 空き家の利活用に関する問合せに対し、専門相談窓口を適切に案内するとともに、東京都及び調布市・狛江市と共催で、空き家の利活用の推進や適正管理の重要性を周知することを目的としたセミナーを開催する。 	

評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>・平成29年度の空家等対策計画が作成され、空き家利活用の方向性を定め、空家対策等推進及び啓発などが進められていることに期待したい。</p> <p>しかし、担当課の進捗状況評価において、空き家等を活用したコミュニティ活動の具体的な施策はないため、空き家を活用したい方々向けのセミナーを開催するなど、目標達成に向けて取組を進めてほしい。</p>
B	<p>平成30年12月に“World Habitat Awards”「最優秀賞」を受賞したNPO法人「リトルワズ」(東京)の取組を紹介する。</p> <p>リトルワズは2012年より母子家庭を対象にした居住支援を実施し、住宅を提供するだけでなく、生活の支援を同時に行い、母親と子供の生活に貢献している。また、社会問題である空き家も活用し、リノベーションして、住めるような住宅にしたり、物件所有者にも活用を提案している。東京都をはじめとした行政機関、不動産専門企業、地域団体とも連携しながら、母子家庭に住まいを提供し、6年間で300世帯以上を支援した。</p> <p>(リトルワズ ホームページ、2019年1月22日朝日新聞記事より引用 https://ameblo.jp/littleones/entry-12425763756.html)</p>

- 評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

具体的な施策・重要業績評価指標 (KPI) 進捗状況評価票
(地方創生関連交付金対象事業)
(対象:平成 29 年度)

事業名	ラグビーのまち府中推進事業	
基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策		地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	政策課	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグビーを新たな地域資源として捉え、様々なイベントの実施などによりラグビー人気の定着を図るとともに、PR活動の推進、市内の子どもたち向けラグビー教室の開催などにより、市内外において「ラグビーのまち府中」のイメージを確立させます。 ・「ラグビーのまち府中推進委員会」を立ち上げ、イベントの実施などを官民協働で実施することで、まちの賑わいづくりにおける共通認識とビジョンの共有を図り、将来の中心市街地活性化および商業の活性化に繋がります。 	

1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度
		目標 (H28 年度)		目標 (H31 年度)		
		実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
ラグビーに関連する特産物や商品、飲食メニューの開発(市内ラグビー関連スポット)	件	5		20		
		0	3	3		
		平成27年度の実績	B	C		
市内でのラグビー関連イベントの参加者	人	5,000		10,000		
		1,500	7,500	8,750		
		平成27年度の実績	A	A		
大学やトップチームと連携するラグビー関連事業数	事業	2		9		
		2	5	8		
		平成27年度の実績	A	A		

			現状値以上			
	休日のけやき並木通りの歩行者通行量	人	19,378	15,586	25,500	
			平成27年度の実績	C	A	
	市内にラグビーチームが存在することを認知している市民の数	人	257,650			
			128,052	-	171,853	
			平成27年度の実績	-	A	

- 進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

2 進捗状況評価（担当課）

【平成29年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>平成29年度は、前年度に発足した「ラグビーのまち府中推進委員会」の活動が2年目となり、前年度から発展させた各種取組を実施した。</p> <p>指標 に関連では、トップリーグ2チームや大学ラグビー部との協働事業を継続拡大し、参加者・事業数ともに増加となり、これに伴い指標 にあるチームの市民認知度も大幅に増加する結果となった。</p>
B	<p>一方で、指標 に関連するラグビー関連商品等の開発販売については伸び悩んでいる。市内企業と連携し、商工会議所・商店街連合会・食品衛生協会府中支部等へ、協力の打診を行ってはいるが、具体的な商品開発までには至っていない状況である。引き続き、関係者との調整等を行い、具体化に向けた検討を行ってまいりたい。</p>
【平成30年度における取組など】	
<p>ラグビーワールドカップ2019開催1年前となる平成30年度は、公認チームキャンプ地が決定していくため、このPRと一体となって「ラグビーのまち府中」PR事業を相乗的な展開を図っていく。</p> <p>のラグビー関連商品開発については、引き続き、商工会議所・商店街連合会のほか、観光協会・まちづくり府中・市経済観光課、市内事業者等と連携し、商品開発に限らず飲食店のメニュー開発など幅広い視点で検討を進めていく。</p> <p>に関連しては、平成29年度からの事業を継続して展開するとともに、ラグビーワールドカップ2019に関連したイベント（公認チームキャンプ地となった国・チームをPRするイベント）等を実施することにより、イベントへの参加者及び協働して実施する事業数の拡大を目指していく。</p>	

- 評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。
 B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。
 C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	<p>・ K P I については目標値に対して大幅な未達となっており、改善や工夫が必要である。事業者にとっては、売上につながらない商品の開発・製造・販売は難しく、一つの企業に負担がかかると継続しにくいいため、協力依頼だけにとどまらず、他の指標の数値の向上とともに、売上拠点、人員、サポート体制を含めた総合的な検討を行っていく必要がある。</p>
B	<p>例えば、東芝プレイブルーパスやサントリーサンゴリアスの選手に人気のメニューや試合前の勝負メシなどを紹介してもらい、レストランや居酒屋で店ごとにアレンジして提供していただくことで、特別な食材でない限り、協力店が増える可能性がある。</p> <p>市民がラグビーに親しみをもつ機会をつくることで、府中市の魅力としてラグビーを生かすことができるため、さらなる取組を期待したい。</p> <p>・ K P I 及び の増加から、取組が順調に進展しており、府中市民がラグビーを身近に感じる事が定着してきていることがうかがえる。K P I 及び の関連事業を継続的に拡大していくことによって、K P I も増加傾向で進捗していくと考えられる。</p> <p>・ K P I については、現状順調に推移しているが、本事業との関連性を明確にしてほしい。</p> <p>・ 今後もラグビーのまち府中としての P R のほか、市民が身近なスポーツとしてラグビーを感じるような取組に努め、今後も取組が発展するよう期待したい。</p>

評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。

B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。

C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。